

第三部理工系学協会の活動と学術情報に関する分科会（第24期・第4回）議事録

日時：2020年2月14日(火) 10:00-17:45

場所：日本学術会議6階6-A(1)会議室

出席：山口 周，菱田公一，安達 淳，柴田直，田辺新一，茶谷直人，吉村忍，米田雅子

欠席：田近英一，川村光，小菌英雄，大西公平，小松利光，花木啓祐

情報提供：伊神正貫（NISTEP），林和弘（NISTEP），隅田英一郎（NICT），水野 充（JST），川口慎介（JAMSTEC）

陪席者：小賀坂康志（JST），松邑 勝治（JST）

議事：

1) 前回議事録の確認

- ・前回議事録案（資料1）の確認を行った。最終校の確認は委員長一任とした。

2) 本日の分科会の趣旨説明

- ・委員長より本日の審議内容に関する趣旨説明があった。

3) 伊神正貫氏（NISTEP）から，資料2に基づいて論文出版から見た日本の研究力後退の現状について情報提供があり，審議を行った。

4) ジャーナル購読問題について非公開審議を行った。

- ・菱田委員から，前回説明を行った Elsevier 社からの後日回答について説明があった（非公開資料1）。
- ・山口委員から文部科学省におけるジャーナル検討部会に関する報告があった（非公開資料2, 3）。

5) ジャーナル出版問題について，以下の議題について審議した。

- ・林和弘氏（NISTEP）より，「なぜ日本には Flagship 誌が生まれないか？」という議題について情報提供があり，その内容について審議した（資料4）。
- ・隅田英一郎氏（NICT）より，「機械翻訳の実力と課題」という議題について情報提供があり，その内容について審議した。
- ・水野充氏（JST）から，「和文論文の機械翻訳による同時多言語出版の課題」という議題について情報提供があり，その内容について審議した（資料5）。

6) 理工系における Open Data/Open Science について

- ・安達幹事（NII）より，論文出版における研究データの論点整理について報告があり，検討の方向性について審議した（資料3）。

7) 学協会の機能強化について

- ・川口慎介氏（JAMSTEC）から，学会名鑑の集計結果について情報提供があり，その結果について審議した。

8) その他

・次回は2020年3月23日（月）に開催する。

以上

配付資料：

資料1 第3回第三部理工系学協会の活動と学術情報に関する分科会議事録（案）

資料2 日本の研究力後退の現状

資料3 理工学系学協会におけるOpen Dataへの対応

資料4 なぜ日本にはFlagship誌が生まれないか？

資料5 和文論文の機械翻訳による動じた言語出版の課題

非公開資料1 菱田メモ

非公開資料2 犬塚メモ

非公開資料3 山口メモ